

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名		佐賀市立松梅中学校																
1 前年度 評価結果の概要		・学力の向上においては、校内研究の取組を中心に、「主体的に学習に取り組み、学びを生かす児童生徒の育成」を意識した共通実践を行った。一人一授業の取組を行い、児童生徒の自ら考え、学びを生かす姿を追究し、手立てを工夫し、授業改善に生かした。 ・心の教育においては、いじめの早期発見、早期対応体制の充実を図ることができた。また、未然防止対策では、職員のローテーションによる講話やスクールカウンセラー・外部講師による講演会、さらには特別の教科道徳の授業等に全職員で取り組んだ。成果として昨年度、いじめ、問題行動等発生件数0であった。今後も本年度の取組を継続していく中で、生徒の人権意識を向上させる。 ・業務改善・教職員の働き方改革の推進においては時間外勤務時間の目標は達成できたが、タイムマネジメントの意識が低かった。今後もアイデアを共有し、タイムマネジメントを意識した業務効率化をさらに推進する。 ・個に応じた教育の充実においては、一人一人に応じた教育活動を実施し、全職員で生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを行った。今後も取組を充実させる。																
2 学校教育目標		ふるさと松梅を担う心身ともに調和のとれた生徒の育成																
3 本年度の重点目標		① 社会に開かれた教育課程の実現 ② 学校運協議会制度を生かした小中一貫教育の推進 ③ 安心・安全な学校づくり（集団に不適応を起こしている生徒への対応）																
4 重点取組内容・成果指標												中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目																		
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価										
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言									
●学力の向上	○「自ら考え、学びを生かす児童生徒の育成」のために、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの推進	○2学期以降の実力テストにおいて、全ての教科の得点の平均が、前年度の平均点を上回る。 ○生徒アンケートにおいて、「めあてを意識しながら、授業の振り返りをするのができたか」及び「苦手なことを克服するために、自主学習で自分なりに工夫して取り組んだか」の項目に対して肯定的な回答をする生徒が80%以上。		・すべての教科において、「自ら学び、考えを活かす生徒の姿」を実現するための手立てを工夫する。 ・めあてとふりかえりの徹底 ・知識・技能に特化したスキルタイムを継続し、基礎基本の定着を図る。						学力向上コーディネーター								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権についての話を聞くことで、「人権を尊重することを心がけるようになった」に肯定的な生徒80%以上		・社会科と学年が連携しながら部落問題学習を実践する。 ・ふれあい集会で、「いじめ・いのち・人権」に関わる講話を教職員が行ったり、ローテーションによる道徳授業を行ったりする。 ・問題解決的な学習などを取り入れた「考え、議論する道徳」の実現。						人権・同和教育 道徳教育								
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等）について組織的対応ができていると回答した教職員80%以上 ○Q-Uテストで学校生活不満足群の割合が全国平均以下		・月に1度「心のアンケート」を行い、全教職員に回覧し、情報共有する。 ・毎月「生徒指導・校内支援協議会」を開き、目指す子ども像にむかって適切な指導・支援が行われているか確認する。 ・生徒指導教育相談部会を毎週、いじめ防止対策委員会を適宜開き、情報の共有や対応を協議する。 ・保健室来室時に健康相談を行い、担任と情報を共有する。						生徒指導 教育相談								
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」に肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」に肯定的な回答をする生徒80%以上		・各学年ごとのキャリア教育を計画・実施し、夢ノートとつなげることで、夢や目標を立てて逆向き設計の意識を育てる。 ・各行事や総合的な学習の時間の中で、具体的な目標や見通しを持たせる。振り返りの手立てを工夫する。 ・地域について考える取組や内容を積極的に取り入れる。							キャリア教育 総合的な学習							
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」 ●「健康を考えて行動できる能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ●「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童生徒80%以上		・各種集会等で交通安全についての話を行う。また、外部機関と連携し、交通安全教室や交通安全に関する講話を実施する。 ・保健体育の授業で、健康についての学習を行い、健康の意義と必要性について学ばせる。また、健康について学習したことを活かすことができるかのアンケートを学習後に行う。						保健 体育								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○「タイムマネジメントを意識して業務改善に努めた」職員80%以上		・月曜日のノ一部活デー、定時退勤日を励行する。 ・定期的に業務効率化についてのアイデアを共有し、意識の向上を図る。						教頭								
●特別支援教育の充実	○個に応じた支援の充実	○一人一人の特性について、他の教員と共通理解のもと合理的配慮を提供することができたと回答した教員80%以上		・特別支援に関する研修会の実施。 ・一人一人の特性等に応じた合理的配慮の提供。						特別支援教育								
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																		
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価										
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言									
○郷土愛にあふれた心豊かな子どもを育む道徳教育の研究	○授業力の向上 ○小中連携の取組 ○家庭・地域との連携	○学校評価アンケートで「道徳の授業や先生方の話から、自分の考えを広くしたり自分を見つめ直したりしている」に肯定的な生徒80%以上。 ○自作の道徳アンケートで、「向上心・個性の伸長」「希望と勇氣・克己と強い意志」「郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度」の項目に肯定的な生徒が80%以上。 ○学校評価アンケートで、「学校は、ふれあい道徳や道徳通信を通して、学校で行っている道徳教育をわかりやすく伝えていく」に肯定的な保護者が80%以上。		・主体的・対話的で深い学びを実現する手立ての工夫 ・一人一授業(同時期に同じ内容項目の授業)を行い、授業研究会を行い、研鑽を深める。 ・共通実践事項の徹底 ・道徳通信を2ヶ月に1回発行 ・ふれあい道徳の実施 ・地域教材の開発 ・実態把握のためのアンケート作成						道徳教育								
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育																		
5 総合評価・ 次年度への展望		・ ・ ・																